

隅肉溶接試験の免除規定を利用される方へ（重要）

2021年3月25日

AW 検定受験事業所御中

一般社団法人 AW 検定協会
会長 早野裕次郎

AW 検定工場溶接試験運用規定の隅肉溶接試験免除規定の改定について(再)

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、工場溶接試験運用規定に定める「隅肉溶接試験の免除規定」は2019年度検定試験より大幅改定になっていますので、その改定内容、運用方法（経過的移行措置）等を再度お知らせいたします。

2021年度以降に受験される各位におかれましては、同封資料をご確認のうえ免除資格の取得に留意して頂くようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 工場溶接試験運用規定第6条隅肉溶接試験免除規定改定内容
旧基準：JIS Z3801-1997（手溶接技術検定における試験方法及び判定基準）
改定基準：（一社）日本溶接協会
WES8101-2017（すみ肉溶接技能者の資格認証基準）
2. 同封資料
隅肉溶接試験新免除規定の解説及び切り替えのスケジュール

以上

資料(改定についての説明書)

発行：2021年3月25日
一般社団法人AW検定協会

AW検定を受験する皆様へ

AW検定(建築鉄骨溶接技量検定) 隅肉溶接(A種)試験【新免除規定】の解説(再)

はじめに

2019年4月1日より、工場溶接隅肉溶接(A種)試験の免除規定は【新免除規定】に改定されました。この新免除規定は、適用する免除資格が従来の「手溶接技術検定における試験方法及び判定基準 JIS Z 3801」から日本溶接協会「すみ肉溶接技能者の資格認証基準 WES8101」に変わります。また、この改定に併せて期間を限定した「経過措置」を設けています。

実務において隅肉溶接のほとんどがガスシールドアーク半自動溶接で行われている実態から、(隅肉溶接試験の免除)についてもガスシールドアーク半自動溶接を含むように改定しました。

【新免除規定】について

2019年4月1日から運用されるAW検定では、(隅肉溶接試験の免除)の対象者は、(一社)日本溶接協会「すみ肉溶接技能者の資格認証基準 WES8101:2017」に規定されている下記表の資格保有者となります。

すみ肉溶接技能者の資格認証基準 WES8101:2017		
①	被覆アーク溶接	Fil-HとFil-Vを共に保有している者
②	マグ溶接	SFil-HとSFil-Vを共に保有している者

上記表の①か②のどちらかに該当する者が免除の対象となります。被覆アーク溶接とマグ溶接の資格を組み合わせること(例:Fil-HとSFil-V)は対象とはなりません。また、WES8101:2017にはFil-0やSFil-0など上向き水平すみ肉も規定されていますが【新免除規定】の対象とはなりませんのでご注意ください。

「経過措置」について

2019年4月1日からは【新免除規定】となりますが、経過措置期間(2019年4月1日から2022年3月31日までの間)は旧免除規定によることができます。ただし、無駄なくスムーズに移行するためJIS Z 3801の適格性証明書は「登録年月日」が2020年3月31日までのものを有効としています。2020年4月1日以降に登録された証明書は免除の対象とならないのでご注意ください。また経過措置期間が終わる2022年4月1日以降は【新免除規定】に完全移行します。よって、経過措置も終了するので、証明書の「有効年月日」が残っていても免除の対象とならないのでご注意ください。

今後、免除資格を取る方は、
「すみ肉溶接技能者の資格認証基準 WES8101:2017」で取得して下さい。
WES8101:2017試験については、(一社)日本溶接協会の各地区溶接技術検定委員会へお問い合わせ下さい。ホームページは、(http://www.jwes.or.jp/mt/shi_ki/wo/archives/33/)です。

改定資料(改定についての説明書)

隅肉溶接(A種)試験

発行:2021年3月

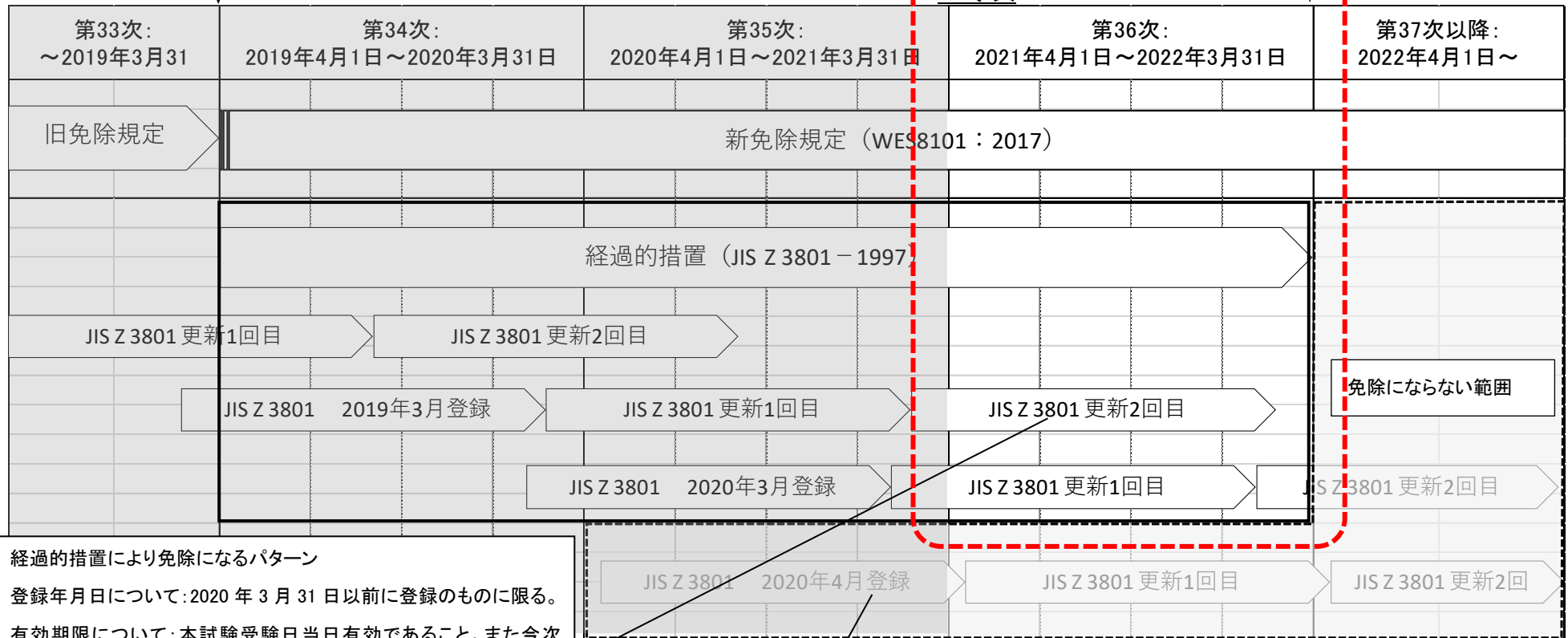
【新免除規定】切り替えのスケジュール

経過措置期間

2019年4月1日、新免除規定スタート

▽今次

2022年4月1日、完全移行



免除にならない範囲

経過措置により免除になるパターン
 登録年月日について:2020年3月31日以前に登録のものに限る。
 有効期限について:本試験受験日当日有効であること。また今次は、日本溶接協会・現有適格性証明書の有効期限の延長宣言とその証明に基づくものとする。

免除にならないパターン